

希望郷いわて

小本川河川改修計画の概要

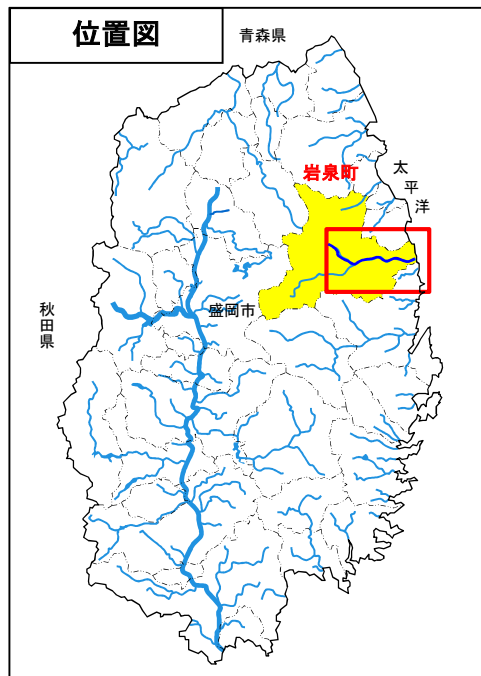
県土整備部河川課
沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター



対象河川と流域の概要

小本川は、岩手県の北東部に位置し、北上山地の国境峠に源を発し、中流部で青松葉山等の源を発する右支川大川を合わせて更に東流して左支川清水川、右支川鼠入川、猿沢川等が合流し太平洋に注ぐ流域面積731km²、流路延長65kmの二級河川である。

小本川流域は、岩泉町が概ね全域を占め、流域北部の一部を田野畑村が占めている。
流域の土地利用は、山地・山林が90%を占め、畑・原野及び水田が約5%をそれぞれ占め、宅地は岩泉町及び海岸の小本地区の市街地並びに小本川沿川に点在し0.8%程度である。



項目	諸元
幹川流路延長	65km
県管理延長	48.655km
流域面積	731km ²
流域市町村	岩泉町、田野畑村
流域内人口	10,499人 (平成20年5月現在)

宇霊羅山

うれいらさん

岩泉町のシンボルとして町民に親しまれています。「ウレイラ」はアイヌ語で「霧のかかる山」という意味があります。標高604メートルのお山で、小学生からお年寄りまで登っています。



茂師海岸

もしかいがん

小本海岸の南に続く茂師海岸。アンモナイトなど1億年前の貝化石の産地として有名でしたが、1978年に日本で初めて恐竜の化石が発見されました。地名を取り「モシリユウ」と名づけられています。



龍泉洞

りゅうせんとう

日本三大鍾乳洞のひとつ
透明度の高い「龍泉洞地底湖」の水は日本名水百選にも選ばれています。
ドラゴンブルーの湖水は、神秘的で吸い込まれそうな美しさ



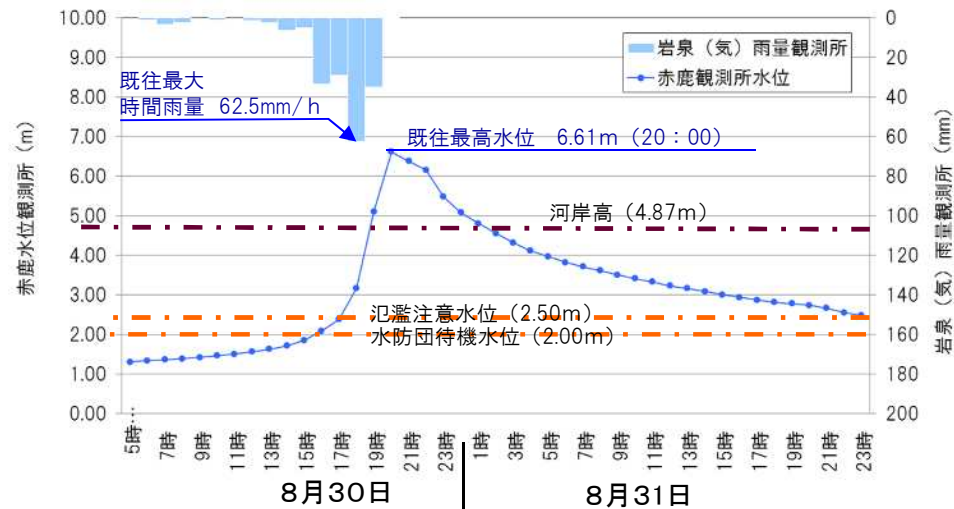
小本川 被害概要

■ 出水概要

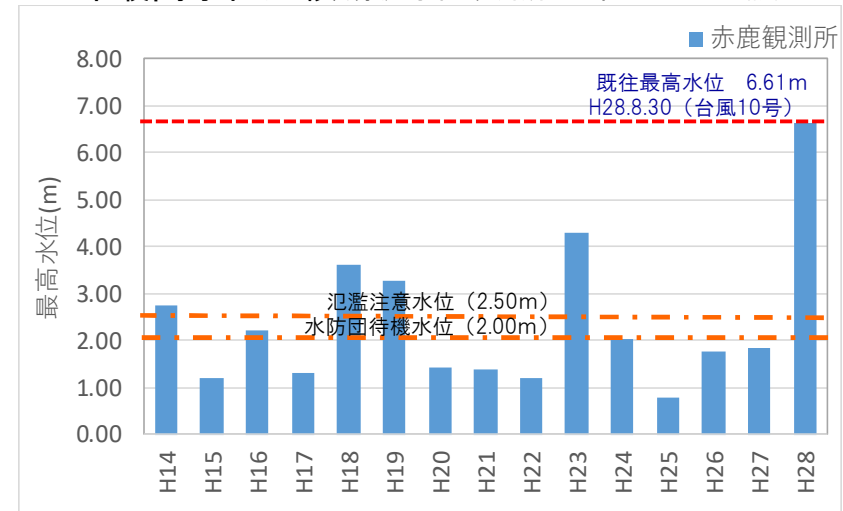
平成28年8月29日から30日にかけての台風10号による豪雨により、小本川水系小本川の赤鹿水位観測所において、現況河岸高（4.87m）を大きく上回る水位（6.61m）を記録する洪水が生じ、甚大な被害が発生

- 今次出水の特徴：赤鹿水位観測所において、約6時間にわたって現況河岸高を超過
- 小本川の状況：計画高水位を上回り、流域全体で溢水し浸水被害が発生
加えて、下流部では堤防が決壊し被害が拡大
- 清水川の状況：岩泉市街地では橋梁部において流木閉塞に伴う溢水が発生
- 浸水被害：小本川沿川及び清水川沿川で床上浸水723戸、床下浸水121戸の家屋・事業所等が浸水

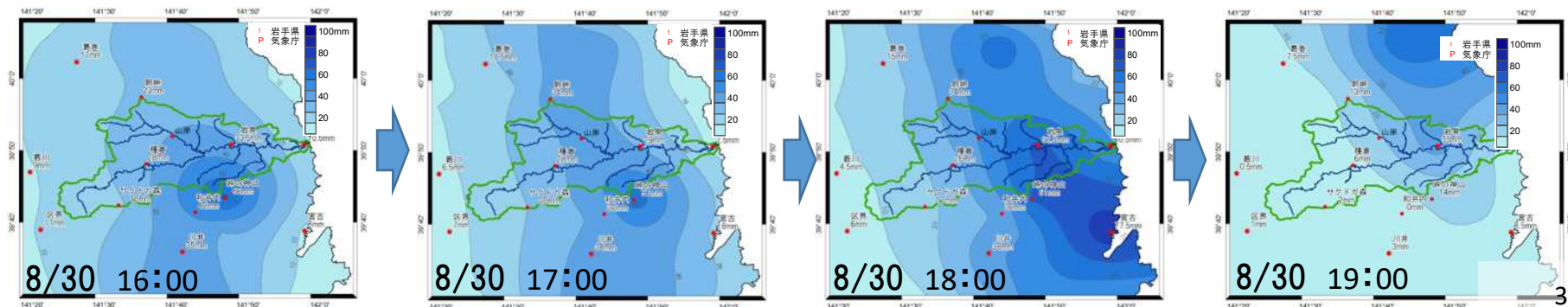
■ 水位の状況 (赤鹿水位観測所: 小本川8.7km地点)



■ 年最高水位比較 (赤鹿水位観測所: 小本川8.7km地点)



■ 等雨量分布図 8/30 16:00~19:00



小本川 被害概要

	河川	地区名	床下浸水(戸)		床上浸水(戸)		浸水面積(ha)	
			家屋	事業所	家屋	事業所	田	畑
			災害復旧助成事業区間	小本川	門	38	2	72
	曇綿	30	0		54	5	19.8	3.9
	尼額	7	0		25	0	1.1	1.9
	計	242				27.8		

	河川	地区名	床下浸水(戸)		床上浸水(戸)		浸水面積(ha)	
			家屋	事業所	家屋	事業所	田	畑
			河川激甚災害対策特別緊急事業区間	小本川	中島	4	0	105
	中里	3	1		98	10	15	3
	曇野	1	0		75	4	23	3
	乙茂	2	0		63	33	4	6
	岩泉町市街地	20	2		82	19	1	3
	清水川	11	0		49	14	0	0
	小計	41	3	472	86	98	22	
	計	602				120		

二升石地区



曇綿地区



乙茂地区



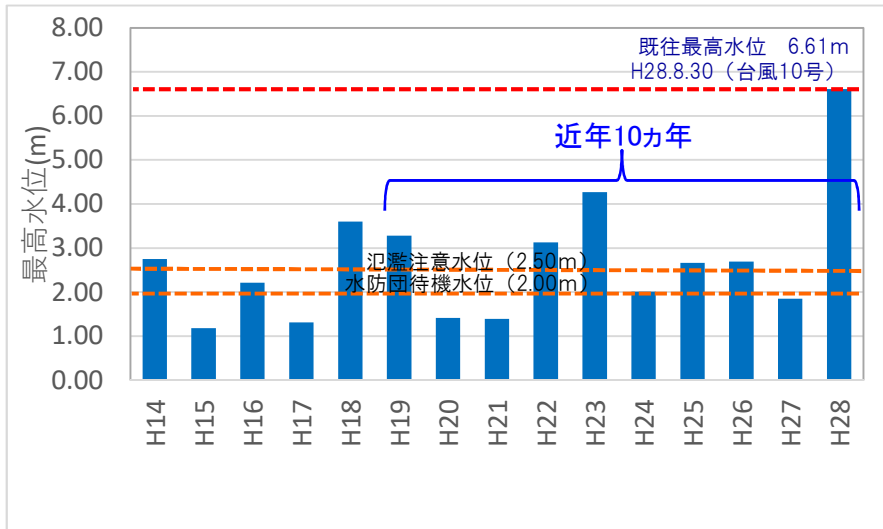
中島地区



小本川の過去の主要洪水の流量について

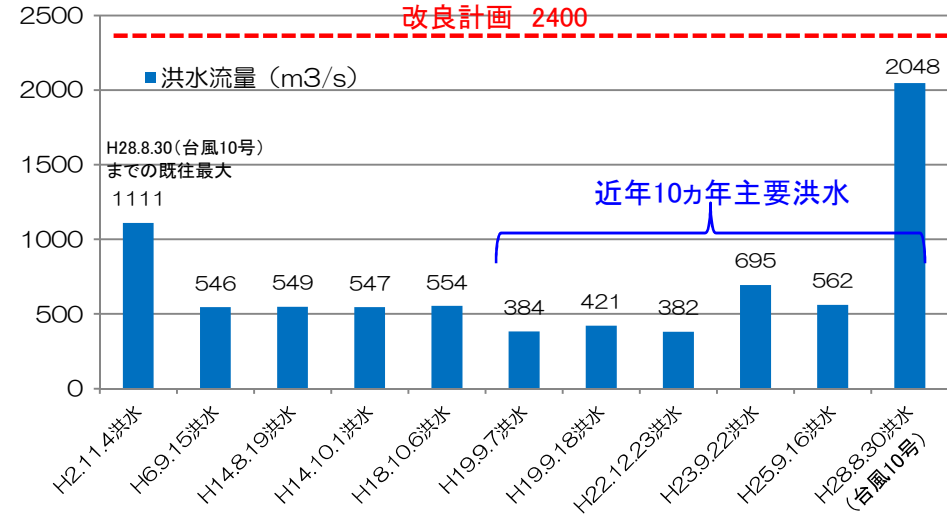
◇平成28年10月30日の台風10号においては、水位・流量観測開始した昭和61年度以降、既往最大であった平成2年11月4日の洪水流量1,111m³/sを大きく上回る、2,048m³/sの洪水流量が観測された。

■年最高水位比較(赤鹿水位観測所:小本川8.7km地点)

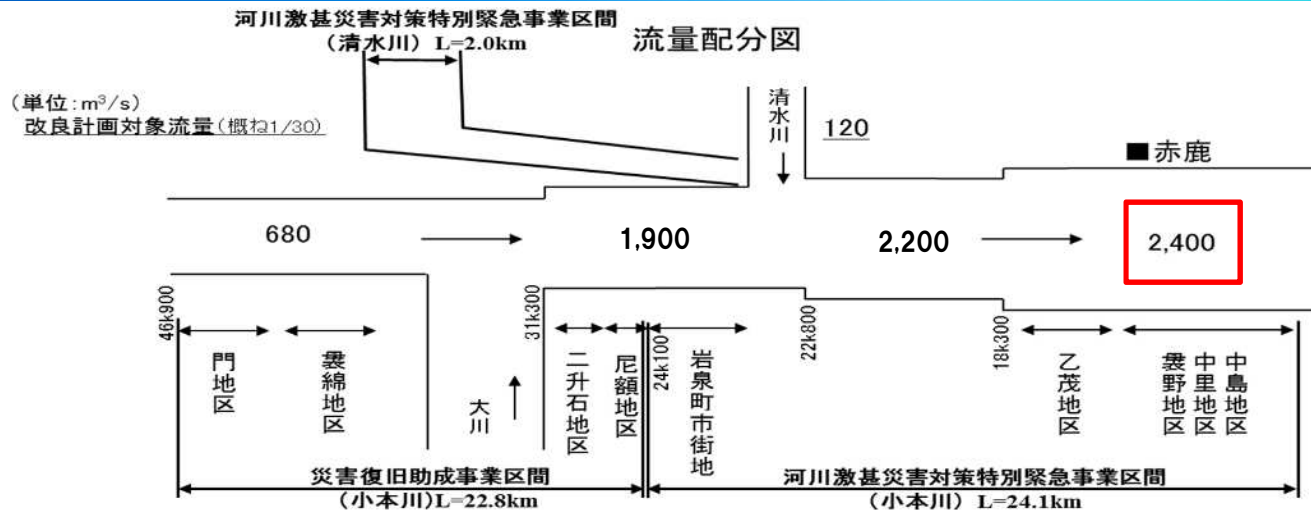


■小本川の過去の主要洪水

水位・流量観測開始した昭和61年度以降した(赤鹿地点)



小本川の改良計画について



◇小本川上流区間では「災害復旧助成事業」、下流区間では「河川激甚災害対策特別緊急事業」により河川の改良を図り、再度災害防止を図る。